



名取・NPO

ダンスで更生・自立支援 少年院DJ25周年記念

SAMさん考案

認定NPO法人ロージール（名取市）が取り組む少年院向けの音楽放送「少年院DJ」が、来年12月に開始25年となるのを前に、記念イベントが、名取市体育館であった。

9月30日の記念イベントには、ダンス&ボーカルユニットTRFのSAMさん(63)がゲストとして登場した。SAMさんは、事前に東北少年院（仙台市若林区）を訪



①「ダレデモdANCE」を踊る参加者②イベントであいさつする大沼さん（左）とSAMさん

れ、在院する少年らとダンスで交流。イベント会場では、SAMさん考案の「ダレデモdANCE」を参加者約400人で踊ったほか、仙台大や仙台城南高、仙台大明成高のダンス部がパフォーマンスを披露し、活動の節目を祝った。少年院DJは同法人理事長で保護司の大沼えり子さん(68)＝名取市＝らがDJを務め、少年院に入る少年少女のリクエストに応える1時間番組。2001年12月に始まり、現在は3カ月に1回、東北の2少年院に送り届け、少年少女の更生と自立を支援する。21年に予定した20周年のイベントがコロナ禍で中止となったため、今回はそれも一緒に祝うイベントとして開催した。

「社会に残された子どもたちに大人として寄り添う」との思いで活動が続けてきたという大沼さん。「立ち直ろうとしている子どもたちのために、DJ放送などの支援を通して幸せを感じられる社会をつくりたい」と語った。（宮本吉乃相）